

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
伊藤彬	トレーニング科学 I	授業評価アンケートにご回答いただき誠に有難うございました。この科目は毎回の小テストおよびアンケートの提出、授業内テストを実施しました。今回の授業アンケートではほとんどの項目で良い評価という結果でした。学生の皆さんが一生懸命取り組んでくれた結果だと思えます。特に、「この授業を後輩や他の人に薦めたい」という評価項目では、全学平均を大きく上回る結果でした。これからも継続して教育活動に精進していきます。
岡田 大助	アカデミック・スキル演習 I A (マス)	問題を解いているときに、話しをしていることがあり、集中できないとの趣旨のコメントがあった。解説の延長で問題を解かせている最中に補足的に説明することがままあったと記憶しているため、今後、配慮したい。
山本隆一郎	基礎ゼミナールA	本授業は、1年次配当のゼミナール科目である。評価の平均点は5点中4.8点であり概ね高い評価を頂いた。わかりやすさ・教材の利用が授業の役に立った・話しの明確さは5.0点と高かった。昨年度から学科内でのシラバス内容の調整がありすべての資料や授業運営の仕方を再構築し、本年度はさらに改善をしたが、一定の意義があったと考えられる。また、自由記述も多くあり、教員がフランクで楽しい、優しい、フォローしてくれて助かったという意見があった。これらの満足度の高さは、教員の努力や工夫ではなく、個々の学生が主体的に疑問点などを質問してくれたため、個々に自分の受けている授業が意味のあるものとして感じられた結果であると思う。例年述べていることであるが、基礎ゼミナールAの初期は大学での適応を定着させることが中心であり、ゼミ生同士の相互作用の良さが大きく授業評価に反映される印象を持っている。満足度の高さは、今後の学生生活への適応にとっても好ましいと考えられる。授業内容を踏まえて、今後も主体的に学び、学問に興味を深めてもらえることを祈念する。
山本隆一郎	臨床心理学概論 (2022年度入学者向け)	本授業は、2年次の必修科目である。2021年度以前入学者は通年の授業であったが、2022年度入学者より半期の授業となっている。また、本授業はオンライン授業科目であり、オンデマンド形式により行われた。なお、今年度は、昨年までの授業内オンライン試験を定期試験期間中の試験に切り替えたため、試験終了後の紙媒体での授業評価アンケートであった。紙媒体を見た時には、全体的に辛い評価が散見される印象であったが、評価の平均得点は5点中4.5点であり概ね高い評価が得られたと感じている。評価の比較的高かった項目としては「授業の終了開始時刻が守られていた(4.8点)」、「授業に対する熱意(4.7点)」が挙げられる。一方低かったものとしては「私語を注意するなどスムーズな授業運営(4.3点)」が挙げられるが、これはオンデマンド授業では評価しがたかったのであろう。自由記述の中に対面授業がよかったという声もある(ライブで授業を受けたいという希望は個人的にはうれしい)が、特に授業の後半は心理療法の背景哲学についての話など抽象度も高いこともあり、繰り返し見れるオンデマンドの方式・構造化された授業の進め方が学習に有用であると判断されたことからこの授業はオンライン授業科目に設定されていることを申し添えておく。いずれにしても半期化2年目として順調に授業運営できたと考えられる。さて、この授業では臨床心理学は「人のHappyやUnhappyという事例個別的で文脈依存的な不良設定問題を理解し支援する学問である」と説明をしてきた。また、この学問を学ぶことは単に心理職の根幹となる知識を身に着けるといふことでなく、自分らしく生きるためのヒントをつかむことにもなると授業で強調をしてきた。今後の生活の中で困ったことがあった時に、本授業の内容がより自分らしく素敵に生きるためのヒントとなることを祈念している。

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
山本 隆一郎	健康・医療心理学	<p>この授業は3年次配当2群選択科目かつ公認心理師資格に関する科目である。評価の平均点は4.6点と高い評価を頂いた。また、自由記述でも知識だけでなく人生にとってためになる考え方を学べたことや授業や説明が工夫されていて面白い授業だったという意見もいただいた。</p> <p>例年この授業の評価は高いが、学生さんにとって身近な「健康」がテーマであることに起因していると考えられる。ただ、いつも「面白かった」という感想の背景が気になる。自分にとって心地いい（教員の語り口がわかりやすい、キャラがあって覚醒度高く授業を受けられるなど）ということは、必ずしも「本当の意味でよい授業」であるということなのか？ということは各自考えてほしい。この授業の真価は学生の皆さんの健康行動に表れてこそ意味があるので、授業内容を思い出し、健康な生活を送り、それぞれの価値にコミットした生活に本授業で学んだことが少しでも寄与することを祈念する。</p>
尾花真梨子	基礎ゼミナールA	<p>アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、1年次配当の少人数制のゼミナールで、大学で心理学を学ぶために必要な学習態度を身につけることを大きな目的としています。具体的には、講義への参加の仕方、効果的な図書館の利用方法、資料収集方法、資料の読み解き方、要約の方法等を学習するような構成となっています。全体の平均値が4.6であり、履修した皆さんにとって概ね満足度の高い科目であったと考えられます。授業では、大学への適応を促すことディスカッションの機会を積極的に設け、学生同士が相互に積極的なコミュニケーションを図れるような工夫を行いました。そういった機会が、仲間意識や学習意欲の向上につながっているとすれば嬉しく思います。後期も引き続き頑張りましょう！</p>
尾花真梨子	障害者・障害児心理学	<p>アンケートへの回答をありがとうございます。この科目は、3年次配当の公認心理師受験資格対応科目の一つで、障害に関する定義や法制度などの基礎知識を踏まえ、障害者・障害児が抱える心理的・社会的困難の実際について理解を深めることを目的としています。同時に、障害者・障害児を支援する際に求められる心構えや支援のあり方、法制度ならびに支援施設に関する基礎知識の獲得することをも視野に入れた構成となっています。</p> <p>今年度も100名を超える履修者がいましたが、全体の平均値は4.7であったことから、学生の皆さんにとって満足度は高かったものと考えられます。また、自由記述でも、複数のあたたかいコメントをいただきありがとうございます。授業でも双方向性を保つように努め、スプレッドシートを活用したQ&Aを作成し、学生の皆さんからの授業内容や日常生活における疑問などの質問・相談に答えるなど、机上での学びと現場をつなぐことができるように努めました。今後も障害者・児と直接的・間接的な接触は非常に多くなることが予想されるため、本科目での学びが皆さんの日常生活において何かしらの手助けとなったら嬉しく思います。</p> <p>なお、配布資料を早めに配信していますが、予習の程度にはばらつきがみられました。授業前に目を通しておくことで、授業内容への理解はさらに深まります。ぜひ主体的に学ぶ姿勢を養ってください。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
木内英太	ポピュラーカルチャー論	<p>授業で使用したパワーポイントを学生に全て提供することはしません。今までに授業でやってきたことを覚えて、期末テストや期末レポートで単位を出す授業ならパワーポイントの資料を全て提供します。しかし、敢えて、毎週、1週間のうちに自分で色々考えて具体例を挙げて課題を出すという形式をとって毎週採点をしています。暗記を求めているのではないのです。</p> <p>内容が多岐にわたるので全て復習して納得するのは不可能です。それよりも授業で出てきたうちの何かについて、自分は気になる、興味が持てると思って1点に集中して自主的に取り組んでほしいと思います。復習よりも自主学習をしてほしいです。</p> <p>授業で述べていますが、この授業はエンタテインメント業界の就職活動でグループ面接の時にうまく答えられることを目標のひとつにしています。就職活動の面接では Wikipedia に書いてあるようなデータを暗記して述べるのではないのです。</p> <p>たまたま授業で少し取り上げたフランス映画に興味を持ったと口頭で言ってきた学生がいました。それで話をしたところ、いくつか見てとても面白かったと言っていました。この学生はフィリップ・ラショーのコメディ映画などを初めて知っていくつか見たということで、後の就職活動でグループ面接時に話題が増えることで良かったと思います。</p> <p>このように、授業内容を全て復習しようとするのではなく、自分はこれは気になったというものだけをとりあえずメモなどをして、（オタクの学生とくだらない話をしていて声をかけにくいかもしれませんが）私に口頭で質問してもらって、興味を持てたことについて集中的に勉強して欲しいと思います。</p>
館林牧子	メディアリテラシー	コメントうれしく思います。授業の改善点に関する提案もお待ちしています。
館林牧子	新聞論 I	コメントうれしく思います。授業の改善点に関する提案もお待ちしています。
浅岡章一	基礎ゼミナールA	1年生前期の必修科目という事もあり、「シラバスをよく読んだ」の得点は低めになっています。初回授業時に丁寧に説明してはいますが、シラバスを初回授業の前に読む事の重要性は丁寧に伝えていきたいと思います。授業内容の理解や授業を通しての知識の獲得については高い評価を頂きました。もともとクラスルーム的な意味合いもある授業であるため、授業自体の目的が曖昧になりがちな科目ですが、学科として組織的な改革に取り組んだ成果が出ているように感じています。
浅岡章一	心理学実験プログラミング	<p>本年度から開講された科目のため、専門性の高さの調整（難易度の設定）には苦労しましたが、他者に薦めたい授業と評価してくれたことをとても嬉しく思います。自宅学習の量も得点が4.3となり、毎週2時間~3時間と最適だったように思います。全体として高い評価でしたが、教材・資料等の工夫や、表示文字の工夫の余地はまだあるのかなと思います。</p> <p>今回は、非常に高いモチベーションをもつ学生さんのみの受講となったようでしたが、今後より多くの学生さんが受講してくれるよう、工夫をしていきたいと思います。</p>
村上涼	基礎ゼミナール	「授業中にうるさいときに、しっかり注意してほしい」という点に関しては、私語が生じないような授業環境調整に努めるとともに、私語が生じた際にはしっかり注意をしていくように努めていきます。
村上涼	教育相談支援	「実践的なことを学べた」「保護者対応などの実習では学べないことが学べた」「事例検討から学びを深められた」などのコメントをありがとうございました。保育者として現場に出た時にぜひ役立ててください。期待しています。
村上涼	幼児と人間関係	「専門的な保育の学びができた」「課題に集中してできた」などのコメントをありがとうございました。皆さんが指導案を作成するうえで、役に立つ内容をと考えて授業構成をしてきました。ぜひ実習で役立ててください。期待しています。

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
林 香織	コミュニケーション学概論	<p>ほぼ平均的な数値でしたが、「問6 この授業に関して、予習・復習や授業に関連する取り組みをおこなった」は、3.3ポイントを獲得していました。Googlefoamによる予習チェックをおこなったことで、ポイントが平均以上であると考えられるため、これからも継続していこうと思います。</p> <p>一方で、「問12 教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」「問14 専門知識や専門用語の説明はわかりやすかった」はともに4.3ポイントと平均より低くなっていました。授業資料はすべてクラスルームで配布していますし、その解説を授業の中で行っているのでも、平均より低い理由として、オンデマンド回の動画資料を、pptに変換できなかったのではないかと思います。テスト時に「動画を閲覧してよいか」という質問を受けて気が付きました。動画資料は、ppt（静止画）にすることができます。https://support.microsoft.com/ja-jp/office/powerpoint-プレゼンテーションを-pdf-ファイルで保存する-9b5c786b-9c6e-4fe6-81f6-9372f77c47c8 ←これを参照してみてください。</p> <p>後者については、わかりやすい解説を心掛けましたし、実際、「わかりやすい」「具体例が身近」というコメントも多く、数値との解離が見られます。予習と数値の関連がわからず、何とも言えませんが、より身近な具体例を増やすことで見直しを図りたいと思います。</p> <p>最後に、授業中の私語の注意方法について、コメントで指摘を受けました。授業の初回で、「迷惑になっていれば学籍番号を記録する」と注意してあります。同じ教室を共有する以上、私語を不快に感じている人、また私語そのものではなく、きちんと受けている人からしたら同列に扱われることを不快に感じる学生もいることを理解して頂きたいと思います。授業運営者として、注意することは義務ですが、注意しすぎると、授業時間が削られるジレンマを抱えています。運営者のみならず、学習者側も授業をスムーズに運営できる環境作りに協力頂きたいと考えます。</p>
林香織	メディア史	<p>ほぼ平均的な評価を受けました。特に「問6 この授業に関して、予習・復習や授業に関連する取組みを行った」は3.4ポイントと、平均の2.9よりだいぶ高く獲得しています。予習に次週の「世界史小テスト」を入れたことが要因と考えられます。大学の授業では予習復習がしにくいものですが、小テストのために勉強することで、出題範囲、回答が明確なので予習しやすかったのかなと思います。すべての授業でこうしたことを導入できるわけではありませんが、有効な手法として他でも取り入れたいと思います。一方で、唯一平均を下回ったのが「問23 総合的に考えて、この授業を後輩や他の人に薦めたい」は4.3ポイントと、平均の4.5ポイントより低くなっていました。「歴史」は苦手な人も多いこと、また古いことを学ぶことに意義を感じられないという人も増えています。他の人に薦めずとも、自身で何らかの学びや気づきを得ていただければ十分です。最後に、授業中の出入りや私語を注意することなく、授業を進めることができました。授業運営に協力してくれたすべての履修学生に感謝します。</p>
林香織	マスコミ総合B	<p>専門ゼミ生しか受講しない授業なので、アンケートに参加すべきではなかったと思います。申し訳ありません。無記名とは言え、コメントなどは書きにくい状況かと思いました。点数評価も平均より高くはなっていますが.....答えにくいですね。</p> <p>後期「マスコミ総合C」の中で、もっとこうして欲しいとか、授業改善に関する意見をもらいたいと思いますので、ここでのコメントは差し控えたいと思います。</p>
安岡義文	美術工芸研究I	<p>設問6において評価平均2.6となっていたが、今後学生の予習復習を促すような課題を設けて、学生の学習を支援することを検討していきたいと考えております。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
吉田一康	企業と法Ⅰ	<p>全般的に、高い評価をして頂きましてありがとうございます。その中であって、設問17「学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営に努めていた」の評価が4.5と最も低かった点は、もともと静かなクラスではあったものの、時々私語があったので、今後は注意が必要と思いました。</p> <p>13「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」が4.7と、以前よりも改善されたことは良かった点で、今後も、見やすくする工夫を続けようと思いました。</p> <p>設問5「教科書や配布資料を読むなど、予習・復習や授業に関連する取組をおこなった」が4.3で、設問6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が2.0だった点については、引き続き、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを明示して、予習や復習を習慣づけなければならないと考えました。</p> <p>受講者に関しては、ほとんどの方が後ろに着席して、前列が空席だったのは寂しかったのですが、授業態度は、驚くほど真面目なものでした。御礼申し上げます。</p>
稲葉 隆	ファッション色彩論	<p>学生による授業評価アンケートの結果は、概ね良好であった。</p> <p>すべての項目において、全学集計の評価値と同等か上回っており、否定的な回答は特になかった。</p> <p>ただし、授業の予習復習にかけた時間が30分未満という回答が若干みられた。今後、さらに積極的に受講してもらえようような工夫をしていきたい。</p>
王 令薇	メディア社会学	<p>平均評価は4.4で、全学の平均値より0.1を下回っている。多数の受講者がいるため個別対応が難しいことと、メディア社会やコミュニケーション理論に関する抽象的で、高難度の概念を扱ったことが主な理由として挙げられる。こうした中でも一部の学生から「面白かった」「知識が増えた」「わかりやすかった」とコメントしてくれて、難しい内容だが取り上げる意義が十分あるのではと考えている。今後改善すべき点としては、「教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」の得点がそれぞれ4.3、4.4で全学の平均より低かったところを挙げるができる。</p>
王 令薇	マス・コミュニケーション演習E	<p>マス・コミュニケーション演習Eと、マス・コミュニケーション実習Eは、多くの項目で、全学平均であるかもしくはそれを上回っているが、「問い9 授業内容はわかりやすいものだった」に関しては、演習E、実習Eの評価平均は4.2と4.5だった（全学4.5）。実際授業中に英語で書かれた論文を取り上げたり、統計学の一部の知識を紹介したりしたことが主な理由だと考える。学生の基礎学力に関係するため、英語の論文を新聞やテレビの記事に変更したり、数学関連の授業内容をよりわかりやすく展開する仕方を考えたりしていきたいと思う。</p>
山本一樹	ベーシック・マーケティング/サービスM論	<p>マーケティングの基礎を学ぶ講座であるため、わかりやすさと理解を促すために教材や資料の開発には力を入れましたが、「授業内容はわかりやすいものだった」「教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」などの項目で、平均を上回ることができたのは苦労した甲斐がありました。「相互的に考えて、この授業を後輩や他の人に薦めたい」でも平均よりも高い評価となり、率直に嬉しく思います。「サービスの提供について専門的知識を授業内で学び、それを自分のアルバイト先などで生かした」とのコメントを頂きましたが、実践あってこそそのマーケティングです。この講座で学んだことが実社会でも活用できるように、今後も留意して授業内容を考えていきます。学生の皆さんも、今後の活躍に大いに期待します。頑張ってください。</p>
鈴木哲平	言語と文化	<p>「言語や文化の概念が抽象的で難しかった」とのコメントをもらったが、内容上仕方ない部分もあるが、より具体例を効果的に用いるなど、たしかに工夫の余地があると考えました。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
旭 彩希	教育実習事前・事後指導 (幼稚園)	<p>回答くださった皆さん、ありがとうございました。</p> <p>質問1の「シラバスをよく読んだか」という設問の評価平均が全学平均を下回り4.0となっていました。この科目は教育実習（幼稚園）を履修する方全員が必須の科目であり、実習の事前準備や事後の振り返りを行うことがあらかじめ分かっている方ばかりだと思います。そのようなこともあり、積極的にシラバスを見ることにつながらなかったかもしれません。しかし、意識的にシラバスを提示して授業の見通し、学修の進度、内容を捉えられるように工夫できると思いますので、次回に活かします。</p> <p>質問1以外の項目については、全て全学平均を上回っていました。やはり、教育実習という目標・目的が明確になっている科目ですので、履修する学生の皆さんの意識も意欲も高いのだと思われます。そこに応えられるような授業展開・授業方法を引き続き検討・実行していきます。</p>
旭 彩希	幼児と環境	<p>回答くださった皆さん、ありがとうございました。</p> <p>履修した学生自身の受講態度等に関する設問で、やや全学平均を下回っていました。</p> <p>教員の授業実践に関する設問については概ね全学平均と同じ、自由記述には、分かりやすい、意義があったとたいへん前向きで肯定的な意見をいただきました。ありがとうございます。ただ、受講態度の部分で、高く評価できないところは学生自身が自分に厳しく評価したかもしれませんが、実際に授業に対する意欲や積極性につながらなかった部分だと思しますので、授業において主体的に取り組む内容や時間、達成感を得られる工夫が必要だと考えました。次年度の授業に活かしていきます。</p>
旭 彩希	乳児保育Ⅰ	<p>回答くださった皆さん、ありがとうございました。</p> <p>質問1の「シラバスをよく読んだか」という設問の評価平均が全学平均をやや下回り4.1でした。保育士資格取得には必須の科目であり、シラバスが履修を選択する際の判断材料にはあまりならないのかもしれませんが、意識的にシラバスを提示して授業の見通し、学修の進度、内容を捉えられるように適宜シラバス確認を行うなどの工夫をしてみます。</p> <p>質問1以外は概ね全学平均と同じ、自由記述には、乳児理解や保育実習に役立ったとあり、授業が実践と結びついていたようで安心いたしました。一方、受講態度の部分で、高く評価できないところは学生自身が自分に厳しく評価したかもしれませんが、実際に授業に対する意欲や積極性につながらなかった部分だと思しますので、授業において主体的に取り組む内容や時間、達成感を得られる工夫が必要だと考えました。次年度の授業に活かしていきます。</p>
上西秀和	情報セキュリティ	<p>オンライン授業実施に伴いアンケートの回収率が低くなってしまいました。今後のアンケート実施方法について改めて検討いたします。</p>
上西秀和	プログラミングⅢ	<p>3年生向けの専門科目として、若干難易度を高めに設定していることもあり、一部項目で点数が低めの結果となりました。より授業の目的が伝わるよう、また、専門知識や専門用語の説明がわかりやすくなるよう心がけたいと思います。</p>
関根直樹	音楽マーケティング論	<p>授業評価アンケートで、「毎時間感想文を書くのが大変だったが復習する機会にもなり良かった」や、「授業がとても円滑に進んで資料がわかりやすかった」といった前向きな意見もあり感謝いたします。一方で、資料用映像の音量が大きかったという意見もいただき参考にさせていただきました。音楽業界へ進もうとする学生、エンタメを一般教養としてのレベルまで高めたいと希望する学生、どちらの欲求も満たせるような講義を目指していきたいと思します。ご意見ありがとうございました。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
関根直樹	音楽マネジメント論	「課題提出が難しかった」という意見がある一方、「講義に対する熱意を感じることができた」、「経営戦略など実際の企業を例に学ぶことができた」という前向きな意見もいただきました。来期は課題の内容に工夫を加え、なるべく多くの学生が理解でき、提出しやすいものに改善していきたいと考えております。アンケートへのご協力に対し感謝申し上げます。
玉田和恵	情報コミュニケーション論	全般に高い評価をいただけていました。回答いただきありがとうございます。 自由記述では「生きていくための問題解決について理解できた」「学生生活を生き抜くコツがわかった」など、こちらの教授意図が伝わっている記載が見られて喜ばしく思っております。ただ、1点「メモを促進しているのに、スライドがはやく切り替えられることがあった」という指摘をいただいておりますので、切り替えのタイミングを確認するとともに、必要に応じて画像撮影を促したいと思っております。
玉田和恵	情報社会と職業	全般に高い評価をいただけていました。回答いただきありがとうございます。 自由記述では1名の方から「1年生の時から同じことを言っている」というご指摘をいただきました。私の授業は専門の内容とともに4年間の学びを通じて「問題解決の枠組み」と「生きていくためのコツ」を伝えることを目標としていますので、授業の冒頭ではそれらの目標を定着するための課題とフィードバックを全ての授業で行います。その点についてご理解いただいた上で受講していただけますと幸いです。
玉田和恵	情報文化キャリア総合	全般に高い評価をいただきました。回答いただきありがとうございます。 自由記述では1名の方から「オンデマンドでもよい内容ではないか」というご指摘をいただきました。この授業は情報文化学科の学生が将来就きたい職業で活躍されている方や先輩方のお話を直接対面でうかがうことで、多くの学びを得ることを目標としています。そのため、オンデマンドではその目的は果たせないと思っております。これからの授業では指摘いただいたことを活かして、本授業の対面での重要性についてしっかり語っていききたいと思います。
本多 悟	ことばと表現（書きことば）	「ことばと表現（書きことば）」の授業では、メディアの制作現場で使える文章力を養うために、実践的なトレーニングをおこなっているため、作文・ルポルタージュの課題を毎回出しています。まずは、受講生の皆さんが課題に対して真摯に取り組んでいただいたことに感謝を申し上げます。 また、アンケート設問10「授業を通して多くの知識を得ることができた」において4.7の評価と、自由記述欄に「文章力を書く力が身についたと思う」「文章力を少しだけでも高めることができた」とのコメントをいただけたので、多少なりともお役に立てた実感を得られることができました。 一方で、「ルポのテーマ発表はもう一週間早いほうが良かった」とのコメントをいただきましたので、次年度は改善したいと思います。 皆さんからいただいた評価とコメントを参考にして、より良い授業を目指します。
本多 悟	マス・コミュニケーション演習K、実習K	「マス・コミュニケーション演習K、実習K」の授業では、講義（出版業界の現状や雑誌の作り方についての解説）と1班3～6名で構成する「編集部」ごとのワークショップ形式により進め、8ページのオリジナル雑誌を作り上げています。まずは、受講生の皆さんが雑誌制作に対して真摯に取り組んでいただいたことに感謝を申し上げます。 また、アンケート設問10「授業を通して多くの知識を得ることができた」において演習が4.9、実習が4.8の評価と、自由記述欄に「出版の仕組みについて理解できました」とのコメントをいただけたので、多少なりともお役に立てた実感を得られることができました。 皆さんからいただいた評価とコメントを参考にして、より良い授業を目指します。

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
本多 悟	出版論 I	<p>「出版論 I」の授業は、出版の歴史、出版社の活動を学び、出版の未来を探ることをテーマにしていますが、事前課題として、次回のテーマに沿ったインターネット上の関連記事を探して読んでおくことを義務づけています。まずは、受講生の皆さんが課題に対して真摯に取り組んでいただいたことに感謝を申し上げます。</p> <p>また、授業中にはPowerPointの資料を順番に読み上げていただいておりますが、アンケート設問10「授業を通して多くの知識を得ることができた」において4.7の評価と自由記述欄に「大手出版社の歴史などを細かく知れて、興味深い回の授業がいくつもあった。また、出版業界の課題も考えられて、これからも取り上げられるであろう出版業界についてのニュースにも興味が湧いた」とのコメントを、アンケート設問12「教材・資料等の利用は授業の理解に役立った」において4.9の評価と自由記述欄に「5限でほかの授業だと眠くなってしまう時間帯だけど、パワーポイントを読み上げる授業のやり方が集中力に繋がってとても好きだった」とのコメントをいただいたので、多少なりともお役に立てた実感を得られることができました。</p> <p>皆さんからいただいた評価とコメントを参考にして、より良い授業を目指します。</p>
中島健夫	国際報道論 I	<p>本授業では、皆さんにはなかなかなじみのない世界のニュースを、過去の出来事を中心に講義で取り扱いました。興味深くお聞きいただけたことはうれしく思いますが、やはり予習・復習の取り組みへの指示がまだまだ十分ではなかったと反省しています。このため後期の国際報道論Ⅱでは毎回授業の前の日の夜を目標に「補足資料」として予習や復習の参考となる資料を作成して、Classroomにアップロードする試みを始めています。この資料への学生の皆さんの評価などを参考にさらにわかりやすい授業を目指していきたいと考えています。引き続き忌憚のないご意見をお待ちしています。</p>
中島健夫	ドキュメンタリー論	<p>本授業は「平常点＋期末の提出物」での評価といたしました。期末の提出物は「自らが考案した企画の構成案」を提出していただきました。この説明には3回の講義をかけて、毎回皆様にフィードバックをしながら進めてきましたが、100人近くの学生がいたため、十分なフィードバックになっていなかったのではないかと反省があります。後期同時間開講の災害報道論は期末試験を形式を取りますが、引き続き大人数の授業となるため、皆さんの理解度を中盤に独自のアンケートをするなどしてうかがうことで、授業のさらなる充実を目指したいと思っています。引き続き皆さんの忌憚のないご意見をいつでもお待ちしております。</p>
中島健夫	デジタルコンテンツ特論・実習	<p>当該授業では24人の受講生を二つに分けて、それぞれのグループで「企画」「撮影」「編集」「スタジオ」など役割を分けて作業を進めていただきました。作業場がサテライトスタジオと編集室という二手に分かれてしまい、必ずしも十分に各学生に目が行き届かなかったケースもあったことを深く反省しています。アンケートの中でも「統率力がなかった」というご指摘をいただきました、ご指摘はごもっともだと思います。もう少し各自の作業の進捗やその時その時の疑問に丁寧に答えるためにはどのような授業運営が望ましいのか、今回の授業を振り返りつつ来年度以降に活かしていきたいと思っています。ただし、授業評価については出来上がった成果物の出来の優劣でつけるのではなく、各学生がどれだけ主体的に取り組んだかを重視しておりますことだけは申し添えておきます。引き続き忌憚のないご意見をいただければ幸いです。</p>
井上一郎	マスコミ演習D	<p>演習型の講義のため出席率も高く、積極的に参加との回答が高いのが良かった。</p>

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
井上一郎	マスコミ実習D	4限の実習の方も、3限の演習と同様の講義に積極的に参加などはじめ評価の-highが多かったのは良かったが、一方で実習の方だけ熱意のスコアが少し下がっていた。これは後半の実習の方は多くの時間が学生同士によるグループディスカッションの時間になるためと考えられるが、留意点とし来年度以降の検討事項としたい。
井上一郎	マスコミ総合科目B	マスコミ総合科目Bは、少人数で実施している専門ゼミ後の授業の為スコアが高いのは当然ではあるが、授業への参加意識、わかりやすさなどが満点であったのは良かった。とはいえ、改善すべき点は、改善していきたい
井上一郎	マーケティング論	マーケティングの講義は、経営分野であり、多くのマスコミ学科の学生にとって初めて学ぶ分野となるが、講義への参加(4.8)、ノートをとる、質問に答えるなどの積極性(4.7)と高く、内容理解なども4.5以上となったのは安心した。一方、説明が早口だったとのコメントもあったので改善したい。
井上一郎	メディア産業論1	出席率4.8、予習復習4の実施4.5と積極性スコアが高く、話し方4.8、授業で多くの知識を得たなど、講義関連スコアも高くほっとした。一方他の科目同様予習、復習スコアが2.8となっているが、復習用として毎回リアクションペーパー(オンライン)を課しており、実際参加学生は記入している。リアペの記入がマストとなっているため復習として意識がないのかもしれないが、再検討したい。
嘉瀬 英昭	観光ビジネス論	当該科目は、ほぼ、全体の結果と一致していた。ただ、予習復習に掛ける時間については、平均より少ない結果となった。次年度以降、機会があればこの点を中心に修正していきたいと考えている。
森川俊生	放送論 I	評価項目は1項目を除いてすべて4.7~4.9で、概ね高い評価をいただきましたが、「問17/ 学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営に努めていた」の項目のみ4.5でした。私としては、私語の注意などしなくても学生の皆さんが自然に聞き入ってしまうような授業を目指しているのですが、もしざわついている時があれば(ほとんどなかったと思いますが...)注意していこうと思いました。 この授業では、記述を含めた課題を毎回提出してもらい、優れた解答例などを次回の授業で紹介するスタイルをとっていますが、自由記述欄には「自分の回答が授業の最初に紹介された時は嬉しかった」などの好意的コメントが複数ありました。「問23/この授業を後輩や他の人に薦めたい」の項目も4.8となっているため、基本的には今の授業スタイルを続けながら、さらにブラッシュアップしていきたいと思います。
森川俊生	情報番組制作論 I	評価項目は1項目を除いてすべて4.6~4.8で、概ね高い評価をいただきましたが、「問17/ 学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営に努めていた」の項目のみ4.5でした。私としては、私語の注意などしなくても学生の皆さんが自然に聞き入ってしまうような授業を目指しているのですが、もしざわついている時があれば(ほとんどなかったと思いますが...)注意していこうと思いました。 この授業では、記述を含めた課題を毎回提出してもらい、優れた解答例などを次回の授業で紹介するスタイルをとっていますが、自由記述欄には「前回自分の書いた考えについて先生が答えてくれて、視点や新たな考えが聞けて、糧になった」との好意的コメントもありました。「問23/この授業を後輩や他の人に薦めたい」の項目も4.8となっているため、基本的には今の授業スタイルを続けながら、さらにブラッシュアップしていきたいと思います。

教員氏名	科目名	アンケートに対するコメント
森川俊生	映像コンテンツ論	<p>評価項目はすべて4.7～4.8と概ね高い評価をいただき、自由記述欄も「面白い授業」「楽しい授業」など好意的コメントをいただきましたが、「マイクがついているが声が聞きにくい時があった」との指摘がありました。今後は気をつけてみようと思います。</p> <p>この授業では、記述を含めた課題を毎回提出してもらい、優れた解答例などを次回の授業で紹介するスタイルをとっていますが、「問23／この授業を後輩や他の人に薦めたい」の項目も4.8となっているため、基本的には今の授業スタイルを続けながら、さらにブラッシュアップしていきたいと思います。</p>
森川俊生	マスコミ総合科目B	<p>評価項目はすべて4.8～5.0で、概ね高い評価をいただきました。また「問23／この授業を後輩や他の人に薦めたい」の項目も5.0となっているため、基本的には今年度のスタイルを踏襲しながら、さらに創意工夫を続けていきたいと思ひます。</p>